

八幡平市

要望月日	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月19日	<p>1 企業立地促進奨励事業費補助金の対象の拡充について 新型コロナウイルス感染症の流行により、情報通信を中心としたテレワークに親和性の高い業種が地方に目を向けています。当市では、IT系の起業や東京23区内からの本社移転事例が発生しており、無形固定資産投資への支援が求められています。</p> <p>また、県内の新規立地は、多年に渡り低調な情勢が続いており、地域経済を牽引していくには、地場企業や既立地企業への支援が不可欠です。</p> <p>つきましては、次のとおり県の企業立地促進奨励事業費補助金の対象の拡充について、特段のご配慮をお願いいたします。</p> <p>1 固定資産投資額として、ソフトウェアなど償却資産に位置付けられる無形固定資産も対象とするよう要望いたします。</p> <p>2 地場企業も対象とするよう要望いたします。</p> <p>3 増設に関して、雇用者数要件の引き下げを要望いたします。</p>	<p>1 企業立地促進奨励事業費補助金（以下「補助金」という。）については、県及び市町村における税源涵養の観点から、一定程度の税収が見込めるような相当規模の設備投資を補助対象とするほか、雇用創出を要件としてきたところですが、ソフトウェア等については、今後、DXやIoTの進展などにより、IT関連企業をはじめあらゆる産業においてその活用の拡大が想定されることから、県としては、他県の状況を参考としつつ、産業界の動向や具体の企業ニーズを踏まえ、市町村と連携した支援策について、引き続き研究していきます。（B）</p> <p>2 また、本補助金は、企業立地により地域経済の活性化及び雇用の拡大等を図ることを目的として、域外からの誘致を促進しようとするものであり、限られた財源の中で、地場企業や起業まで対象を拡大することは難しい状況にありますが、補助制度を含めた支援のあり方については、企業ニーズや市町村等の意向を踏まえて、より良い方策を不断に研究していきます。</p> <p>なお、県では「特定区域における産業の活性化に関する条例」において、地場企業・誘致企業の別を問わず不動産取得税及び事業税の減免措置、「地域経済牽引事業の促進区域における県税の課税免除に関する条例」において、不動産取得税の課税免除措置を設けています。（C）</p> <p>3 当該補助金については、他県との競争力の比較、業界や産業動向、地域の事情等を勘案して不断の見直しを行っているところです。</p> <p>補助金における増設の際の雇用者数要件につきましても、県内他地域の状況、雇用情勢等に鑑みながら、必要に応じて検討していきます。（B）</p>	盛岡広域振興局	経営企画部	B:2、 C:1
7月19日	<p>2 八幡平松川三ツ石登山道の早期整備について 十和田八幡平国立公園八幡平地域は、八幡平アスピーテラインや八幡平樹海ラインを利用することによって気軽に訪れることができることも魅力の一つで、登山や散策、ドライブなどで県内外から多くの観光客に親しまれています。</p> <p>登山・散策コースのうち三ツ石山は、岩手県内で早い時期の紅葉スポットで9月上旬から中旬にかけて多くの登山客が訪れます。</p> <p>しかし、登山道は降雨により洗堀されるとともに、木道・木柵も経年劣化により荒廃が進み、登山者にとって危険な状況となっています。</p> <p>また、登山道の荒廃により、登山道脇への踏み込みも発生していることから、植生への影響も心配されているところです。</p> <p>つきましては、登山者の安全確保や植生への影響面から早期の八幡平松川三ツ石登山道の再整備を要望いたします。</p>	<p>自然公園施設の整備については、多くの市町村から再整備や補修の要望があり、施設の利用状況や老朽化及び損傷の状況を把握し、施設の安全確保を優先して整備を進めています。国立公園に係る整備は、自然環境整備計画に基づいて進めており、昨年度まで要望のありました黒谷内湿原の木歩道の再整備についても、1年計画を前倒して本年度からの着手を進めています。</p> <p>本要望については、まずは貴市との意見交換や現地調査等の現状把握を行い、計画への位置づけを進めていきたいと考えています。</p> <p>なお、危険箇所等につきましては、自然公園保護管理員によるパトロールなどにより適宜把握に努め、貴市と連携しながら登山者に対する周知や安全対策を講じていきます。（B）</p>	盛岡広域振興局	保健福祉環境部	B:1

7月19日	<p>3 国道282号の改良整備促進について</p> <p>1 松川地区右折レーン設置について 国道282号と市道いこの村線のT字路交差点は、早朝の通勤や通学時間帯に混雑し、盛岡方面に向かう国道282号から市道いこの村線への右折車がある場合は、直進できず西根バイパスの交差点付近まで渋滞する状況となっています。 また、特に冬期間の早朝は、慢性的な渋滞が発生することから、右折レーンの設置が望まれている状況です。</p> <p>2 五日市地区道路局部改良及び流雪溝の設置について 五日市地区五日市橋付近は、安代小学校と安代中学校の通学路となっていますが、急カーブで見通しも悪く、特に降雪期は、路肩の堆雪により幅員が狭小となり、大型車のすれ違いは、一方が待機しているなど通行に支障をきたしています。過去には、隣接する家屋への物損事故も発生していることから、道路の局部改良による見通しの改善が望まれている状況です。 また、国道沿線は、歩道が設置されているものの、除雪による堆雪が多く排雪場所の確保が困難なため、歩道が狭くなり歩行者の通行に支障をきたしていることから、冬期の安全確保のため、早期に流雪溝の整備が望まれている状況です。</p> <p>3 竜ヶ森地区スノーシェルター拡幅整備及び登坂車線の改良について 竜ヶ森地区スノーシェルターは、狭隘区間があり、大小カーブの連続で路面勾配もきついなどの要因から、交通事故が発生しており、スノーシェルターの拡幅整備が望まれている状況です。 また、冬期間において、登坂でスリップし停車する車両があり、これに起因し大渋滞が毎年発生しており、平成29年・30年の年末年始には、連続して交通死亡事故が発生するなど危険箇所であるため、小屋の沢付近から安比高原の十字路交差点までの登坂2車線化が望まれている状況です。 さらに、安比地区には、令和4年8月のハロウィンターナショナルスクール開校、2千人規模の学園都市形成を目指す大型プロジェクトが進められており、さらなる交通量の増加が見込まれることから、当該箇所の重点的な整備が望まれている状況です。</p> <p>4 兄畑中川原地区道路改良整備及び橋りょう架け替えについて 兄畑中川原地区兄畑橋付近は、幅員が狭いうえ、急カーブで見通しも悪く、特に降雪期の除雪により、路肩に堆雪があるときなどは、大型車のすれ違いができないなど渋滞が発生している状況から、道路の拡幅及び橋りょう架け替えが地域のみならず通行車両からも望まれている状況です。 また、秋田県境側に歩道未設置区間があり、早期の設置が望まれている状況です。</p> <p>5 北森駅東口周辺の歩道設置について 北森駅東口付近は、歩道が整備されていないため、通勤や通学、市役所来庁者など歩行者の安全確保に支障をきたしている状況となっています。</p> <p>つきましては、上記5地区の道路整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>① 国道282号と市道いこの村線との交差点付近の渋滞解消に向けて、今年度、警察で右折車の通行の円滑化を図るため、交差点の信号機を時差式に改良しました。このため、右折レーン設置については、信号機改良後の交通状況等を見極めながら、総合的に判断していきます。(C)</p> <p>② 五日市地区については、豪雪等により円滑な道路通行確保が困難となる場合もあるため、車道除排雪等に万全を期しているところですが、局部改良及び流雪溝の設置については、早期の整備は難しい状況です。 今後も、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら引き続き総合的に判断していきます。(C)</p> <p>③ 竜ヶ森地区については、冬期間に交通事故等が発生しており、スノーシェルター内に運転者の安全運転を促すための注意標識や減速マーキング等を設置しているところですが、スノーシェルター内の拡幅整備及び登坂車線の改良については、早期の整備は難しい状況です。 今後も、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら引き続き総合的に判断していきます。(C)</p> <p>④ 兄畑中川原地区については、豪雪の際には道路幅員が狭小となるなど円滑な道路通行確保が困難となる場合もあるため、車道除排雪等に万全を期しているところですが、道路改良整備及び橋梁架替については、早期の整備は難しい状況です。 今後も、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら引き続き総合的に判断していきます。(C)</p> <p>⑤ 北森駅東口周辺地区については、道路東側(市役所の反対側)に歩道を整備済みです。 御要望のあった西側の歩道については、歩道整備は県内各地から多くの要望があるため、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況であり、今後の交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら、総合的に判断していきます。(C)</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	C:5
-------	---	--	---------	-------------	-----

7月19日	<p>4 一般県道の改良整備促進について</p> <p>1 一般県道岩手大更線について 本路線は、当市大更地区と岩手町を結ぶ幹線道路であり、大更小学校と西根中学校の通学路にもなっていますが、西根バイパスが供用されたことにより、交通量が増加しているものの、歩道が整備されていないため、通学や日常生活での歩行者の安全確保に支障をきたしている状況となっています。</p> <p>2 一般県道洪民田頭線について 本路線は、田頭小学校と西根中学校の通学路にもなっていますが、歩道の幅員が狭いため、通学や日常生活での歩行者の通行が危険な状況となっています。</p> <p>つきましては、地域住民の安心・安全と円滑な交通を確保するため、上記2路線の早期改良整備及び歩道整備・拡幅について、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>一般県道岩手大更線の改良整備及び一般県道洪民田頭線の歩道整備・拡幅については、県内の要望箇所も多く、早期の整備は難しい状況ですが、今後の交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。(C:2)</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	C:2
7月19日	<p>5 主要地方道の改良整備促進について</p> <p>1 主要地方道岩手平舘線について 本路線は、当市平舘地区と岩手町を結ぶ幹線道路で、地域の生活関連道路として重要な路線となっています。平舘小学校と西根第一中学校への通学をはじめ、高校生や通勤者などの歩行者が多く利用していますが、寺田地区に一部歩道未設置区間(上関～帷子)があり、歩行者の通行に支障をきたしており、危険な状況となっています。</p> <p>2 主要地方道大更八幡平線について 本路線は、八幡平アスピーテラインを經由して岩手県と秋田県を結ぶ観光道路であり、沿線住民にとっても重要な幹線道路となっています。 寄木小学校と松尾中学校への通学路となっていますが、鹿野地区に歩道未設置区間があり、児童や生徒などの歩行者が車道部を通行しなければならず、特に冬期間は歩行スペースが無く危険な状況となっています。 また、田頭地区の一般県道洪民田頭線との交差点付近は、狭隘であり大型車のすれ違い通行に支障をきたしているとともに、一部歩道未設置区間があり、歩行者の通行に支障をきたしている状況です。</p> <p>3 主要地方道二戸五日市線について 本路線は、二戸市から旧浄法寺町を経て当市に至る県北地域の幹線道路であるとともに、東北新幹線二戸駅へのアクセス道路にもなっています。 湯の沢地区から土沢地区まで(川原地区から日影地区間は改良整備終了)は、歩行空間もなく、見通しも悪く、特に岩屋地区入り口付近から二戸市との市境までの区間は、地域住民が交通事故の危険にさらされており、早期改良が求められています。</p> <p>4 主要地方道葛巻日影線について 本路線は、当市と一戸町及び葛巻町を結ぶ県北地域の幹線道路であり、安代地域に連絡する重要な路線となっています。 本路線を奥中山高原、田代平及び安比高原を結ぶ広域観光ルートとして、利活用を検討していますが、急カーブが多く、大型車の通行に支障をきたしている状況です。</p> <p>つきましては、上記4路線の早期の改良整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>①歩道整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めており、主要地方道岩手平舘線の寺田地区については、早期の整備は難しい状況ですが、今後の交通量の推移、地域の沿道状況や県全体の進捗等を踏まえ総合的に判断していきます。(C)</p> <p>②御要望の松尾寄木地区及び田頭地区については、早期の整備は難しい状況ですが、積雪量の状況や今後の交通量の推移、公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。(C:2)</p> <p>③主要地方道二戸五日市線については、円滑な道路通行の確保を図るため、土沢地区の1200m区間では平成18年度までに、繋沢地区の700m区間では平成29年度までに堆雪帯の設置を完了しており、他の区間の早期の整備は難しい状況ですが、今後の交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。(C)</p> <p>④主要地方道葛巻日影線については、円滑な道路通行の確保を図るため、1.5車線の整備を完了しており早期の整備は難しい状況ですが、今後の交通量の推移や予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。(C)</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	C:5

7月19日	<p>6 スマートインターチェンジの整備促進について スマートインターチェンジは、防災や救急医療、観光など多面的分野における移動時間の短縮と観光人口の誘客を図るため、松尾八幡平インターチェンジと安代インターチェンジ間への整備を計画しているものです。 安全安心な街づくりと地域の発展に大きく寄与する施設整備が望まれている状況です。 つきましては、整備実現に向け支援をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>スマートインターチェンジは、観光振興などの面で地域の活性化に資する施設であることから、県としても、国による準備段階調査や貴市の検討の状況に応じて、周辺施設等へのアクセス改善効果など、広域的な観点からの助言等を行っていきます。(B)</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	B:1
7月19日	<p>7 田山パーキングエリア内緊急流入・退出路への支援について 田山地区は、最寄りインターチェンジから遠距離にあるため、救急医療アクセスの時間短縮を目的とし、田山パーキングエリア内に緊急車両専用の流入・退出路を計画しているものです。 当地区にある田山射撃場は、平成30年2月にパラリンピック競技のバイアスロンナショナルトレーニングセンターの強化拠点施設の指定を受けており、国内トップレベルの競技者が同一の活動拠点で集中的・継続的にトレーニング・強化活動を行うことで、地域経済の活性化が期待されています。 また、県営田山シャンツェは、国内有数の規模を誇り、冬季国体開催を含め全国規模のジャンプ競技会場として認知されてきたところであり、市内からオリンピック選手を輩出するなど競技人口の拡大に貢献してきたところです。 これらの環境変化を踏まえ、安全安心な街づくりに寄与する施設整備が望まれている状況です。 つきましては、整備実現に向け支援をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>緊急車両専用の進入路は、医療施設と既存の高速道路を直結することによって、救急搬送時間の短縮が図れることから、田山地区への設置については、貴市の検討状況に応じて、県としても必要な助言等を行っていきます。(B)</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	B:1

7月19日	<p>8 一級河川の改修事業の促進について</p> <p>1 一級河川安比川浅沢地区の河川改修事業について</p> <p>本河川は、当日日影地区から二戸市との境界まで約3,800メートルを平成13年度から河川改修事業を実施していただいておりますが、平成19年9月豪雨では、岩木地区が冠水しました。その後においても幾度となく避難をしており、平成30年5月も増水により避難を余儀なくされ、市民に不安を与えている状況となっております。</p> <p>事業着手から20年が経過していますが、進捗は50%余りとなっている現状であり、再度災害を懸念していることから、岩屋地区から岩木地区の間の河川改修事業の早期完成を強く要望します。</p> <p>2 一級河川安比川小屋の畑地区の河川改修事業について</p> <p>欠の山に近接して狭隘な箇所を国道282号とJ R花輪線が並走する小屋の畑地区においては、近年、大雨で河川の増水・氾濫により、護岸の決壊などの甚大な被害の発生や、河川の洪水の影響により、J R花輪線の運休や国道282号が冠水するなど被害が発生しています。</p> <p>また、市道鴨志田線は、県と市の協議において、冬期間の高速道路通行止めなどの際には、国道282号の迂回路（現状では幅員狭小のため一方通行）として指定している路線でもあり、緊急時には、国道282号の代替路線としての性格を持っています。</p> <p>本路線の整備にあたり、一部河川の水衝部となっている箇所があり、兼用護岸整備については、多額の費用が見込まれることから河川付け替えなど抜本的対策が望まれています。</p> <p>3 一級河川松川の河川改修事業について</p> <p>本河川は、平成25年9月の台風18号に伴う大雨により、これまでにない増水・氾濫で、多くの護岸決壊や河川周辺土地の冠水など甚大な被害が発生し、河川沿いに居住している一部住民も避難を余儀なくされました。</p> <p>被災した箇所の災害復旧事業に取り組んでいただきましたが、平地部の流れが緩やかな区間などでは、土砂堆積により河床が高くなった区間も散見され、河川沿い住民からは、今後の少しの大雨でも洪水が発生するのではないかと不安の声が多い状況です。</p> <p>このことから、河川改修などの総合的な洪水対策が必要ですが、住民生活安定ため、当面の対策として河道掘削などにより堆積土砂を撤去し、河川流下断面を確保することにより、洪水などの再度災害の防止が望まれています。</p> <p>つきましては、上記2河川の早期の改修等整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>管内の河川改修事業については、近年の洪水による家屋の浸水被害箇所等を優先して整備を進めているところです。</p> <p>1 安比川については、平成13年度から浅沢地区河川改修事業として着手し、家屋の多い岩屋・岩木集落周辺を優先して整備を進めており、令和3年度は岩木工区で用地買収、物件補償を進めております。（A）</p> <p>2 小屋の畑地区については、これまでの被災状況や周辺の土地利用状況を勘案し、貴市と調整を図りながら治水対策の検討を進めていきます。（B）</p> <p>3 松川については、平成29年度に平笠地区、令和2年度に松川温泉地区で河道掘削を実施しており、定期的に河川巡視等を行い、家屋への浸水被害の恐れがある区間や緊急を要する箇所から、適切に河道掘削等を進めていきます。（A）</p> <p>また、住民の円滑かつ迅速な避難を促すため、安比川・松川ともに、水位周知河川及び想定最大規模の洪水浸水想定区域を指定したほか、危機管理型水位計や河川監視カメラを設置したところであり、今後もハード対策とソフト施策を効果的に組み合わせた防災・減災対策に取り組んでいきます。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	A: 2、 B: 1
-------	---	--	---------	-------------	---------------

7月19日	<p>9 テレビ難視聴地域解消事業費に対する県補助金制度の創設及び国庫補助金制度創設に向けた国への働きかけについて</p> <p>当市は、NHKの電波中継地点である盛岡中継局と二戸中継局の中間に位置しており、山間部ということも相まって電波が脆弱であるため、テレビ難視聴地域が多く存在しています。</p> <p>テレビ難視聴地域住民においては、テレビ難視聴対策としてテレビ共同受信施設組合を立ち上げ、加入世帯による積み立てを行い、軽微な施設修繕や維持管理を行っているものの、施設老朽化に伴う改修などは費用が高額となるため、組合独自の積み立てでは対応できない状況です。</p> <p>また、テレビ共同受信施設組合は、NHK共聴組合と自主共聴組合の2種類に分かれており、NHK共聴組合では、NHKが施設改修に際してNHK共同受信アンテナ及び幹線伝送路改修費用を負担するため、組合の負担は幹線伝送路から各戸までの引き込み線などで済むことから、数百万程度で収まりますが、自主共聴組合では、NHKからの費用負担が一切無いため、施設改修費用が数千円規模となり、補助無しで施設改修を行うことが極めて難しい現状となっています。</p> <p>当市では、テレビ共同受信施設組合に対する支援として、テレビ難視聴地域解消事業を行っていますが、NHK共聴組合への補助金が100万円弱から400万円程度に対し、自主共聴組合への補助金は、2,000万円から4,000万円程度となるため、市単費での補助が非常に難しい状況です。</p> <p>つきましては、テレビ難視聴地域解消事業費に対する県補助金制度の創設を要望いたします。併せて、国庫補助金制度の創設を国に働き掛けてくださいますようお願いいたします。</p>	<p>共聴施設の維持管理及び老朽化対策は重要な課題であり、県では、市町村が共聴施設の改修や更新に対して補助を行う場合に、地域経営推進費による補助対象としています。</p> <p>また、これまでも国に対し、県単独及び全国知事会を通じて、維持管理及び老朽化に伴う更新に対する支援制度の創設等について繰り返し要望しています。</p> <p>なお、現在国において、地上放送ネットワークをブロードバンドにより代替する場合の技術的可能性等について調査を行っているほか、令和3年度から4年度にかけて市町村が共聴施設の耐災害性強化に係る事業を実施する場合に、必要となる費用の一部を補助する事業を実施していることから、こうした動向を注視するとともに、市町村と連携し、県内の共聴施設の実情把握に努め、引き続き国に対し支援制度の創設等について要望していきます。(B)</p>	盛岡広域振興局	経営企画部	B:1
-------	--	--	---------	-------	-----